

# ソマリア難民 救援へ医師団

岡山のNGO

非政府組織（NGO）の国際医療組織「アジア医師連絡協議会」（略称AMD A、本部・岡山市、菅波茂代表）は五日までに、内戦のソマリアから二万人を超える難民が流入している隣

国のジブチ共和国に医師団を派遣することを決めた。第一陣として二人を今月下旬に送り出す。

ジブチ政府は南部に四つの難民キャンプを設置、三カ所をソマリア難民に充ててきた。しかし、難民が首都ジブチ市に押し寄せ、都市部の総合病院や結核センターは難民が七五%を占め、首都そのものが難民キャンプに姿を変えそうな事態という。このため昨年未、ジブチ駐日大使からAMD Aに直接、医師団の派遣要請があった。

派遣されるのは岡山市の菅波内科副院長の津曲兼司医師（三六）と、東京都新宿区の国立病院医療センターの田中政宏医師（三〇）。マラリアや結核の治療、栄養状態の改善を図る。今年末まで五回にわたり医師や看護婦延べ二十八人を送り続ける方針だ。